



個性あふれる 地域社会

フィラデルフィアの地区ごとにユニークな特徴があり、それぞれあなたを待っています。

歴史地区とウォーターフロント

新しさと古さの絶妙なバランスが見られるこのエリアは、18世紀へとタイムスリップさせてくれます。コンテンポラリーのアートギャラリーや、ブティック、ピストロなどを冒険してみたいかでしょうか。月明かりの下で馬車に乗ってみたり、幽霊ツアーに参加するのも、忘れられない珍しい思い出になるでしょう。夏の間には映画やコンサートが無料で楽しめるイベントや多文化フェスティバルがベンズ・ランディングにて開催されます。毎月の第1金曜日には各ギャラリーが夜遅くまで開放されていて、特別なイベントも開催されます。アート愛好者たちと一緒にギャラリー巡りに参加してみたいかでしょうか。フロント通りと2番通りの間に位置するアメリカ最古の住宅街、エルプレス・アレイも必見です。



リッテンハウス広場

上品な雰囲気漂うこのエリアには、有名な高級ブランドのショップやオープンカフェ、一流レストラン、そしてナイトライフの名所などが集まっています。エリアの中心となるのがリッテンハウス広場という、優美な公園。園内には、パリの公園を模してつくられた広場と噴水があります。ラテを飲みながらのんびりと散歩したり、行き交う人々を眺めるのも楽しいでしょう。

ワシントン広場

緑あふれるオープンスペースでのんびりとした時間を過ごすなら、ワシントン広場が適所です。周辺は人気の住宅街で、変わったショップなどが数多く立ち並んでいます。アンティーク通りやジュエラーズ通りもこのエリアにあります。メイシーズでは洋服や靴の免税品の買い物をお楽しみいただけます。カフェやショップ、本屋が集まるエリアでもあり、活気あふれるLGBTコミュニティがある地域でもあります。



パークウェイ・ミュージアム地区

パリのシャンゼリゼを模してつくられたベンジャミン・フランクリン・パークウェイには、世界的なミュージアムやパブリックアートが一堂に集まっています。フィラデルフィア美術館からドレクセル大学自然科学アカデミー、ロダン美術館、フランクリン協会科学博物館、それにバーンズ・コレクションまで、文化追求者にはどれも外せない場所ばかりです。フェアマウント公園は世界最大の都市公園のひとつに数えられています。川沿いの道はウォーキングやジョギング、サイクリングにぴったりです。



コンベンションセンター地区

ペンシルベニア・コンベンションセンターの向かい側にはペンシルベニア美術アカデミーとレンフェスト・プラザがあります。プラザは、すぐ近くのリーディング・ターミナル・マーケットで買ったランチを食べるのに最適な屋外広場です。このエリアには米国で3番目に大きいチャイナタウンもあります。多種多様なショップや、餃子や麺、フォーなどさまざまなアジア料理が楽しめるレストランが軒を連ねています。

大学街

もとはフィラデルフィアの郊外だったこのエリアには、現在ペンシルベニア大学やドレクセル大学など6つの大学が集まっています。地域全体では合計で101もの大学があります。今では、若者たちのエネルギーがあふれ、多様な文化が混じり合った都会的なコミュニティが形成されています。レストランやアートギャラリー、博物館、劇場も幅広くあります。ペンシルベニア大学考古学人類学博物館やフィラデルフィア動物園、現代美術館もこのエリアにあります。



サウス・フィラデルフィア

サウス・フィラデルフィアは、何世紀にもわたって世界中からの移民を受け入れてきたエリアです。魅力的な長屋の家並や家族経営のレストランなどがその歴史を物語っています。イタリア系やアイルランド系、アジア系、そしてメキシコ系の人々が多く暮らすこのエリアのおかげで、今日でも多様な文化が花開いています。パスアंक・アベニューと9番通りの角には、チーズステーキ・サンドイッチの有名店があります。サウス・フィラデルフィアで最も人気のエリア、パスアंक広場ではオープンテラスでのお食事がおすすです。

マネイアंक

「マネイアंक」は、インディアンのレナペ族の言葉で「飲みに行くところ」から由来しています。かつては工場街だったこの川沿いのエリアは、現在ではショッピングとナイトライフが楽しめるお洒落なスポットに生まれ変わっています。SEPTAのリージョナル・レールをご利用の場合は、マネイアंक/ノリスタウン線でセンターシティ(ジェファーソン駅、サバーバン駅、30番通り駅のいずれか)からマネイアंक駅まで直通でアクセス可能です。このエリアは屋外でお食事が楽しめる醸造所やバー、エスニックなレストランなどが数多くあり、その席数は全部で900を超えます。